

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	01-22
原子炉建屋内	RB	Z7	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内 容 リモートモニタリングシステム (RMS) の活用 (その2)

作業部位 主プロセス建屋他

概 略 RMSは、監理員等の被ばく低減に有効であるが、従来のRMSは大型・重量物で設置場所の制限等があったが、小型・軽量のRMSを開発し、併せて使い勝手を向上させた。

評価 ① 定性・定量	効果	対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	--
		人工数(人日)	--	--

事例詳細

対策前 被ばく低減のためにRMSを使用していたが、装置が大型・重量物等簡単に設置ができなかった。
 対策内容 小型・軽量のRMSを開発し、従来のRMSに代わって使用した結果、設置撤去が容易で被ばく低減に有効であることが確認された。

線量計、線量表示器 (スマートフォン型) を胸部に、通話装置を装備内側に装着

通話装置 (装備内側)



線量計



スマートフォン型
線量表示器

